

第十一号



第10号昭和48年 5月7日発行

発行所
西多摩医師会
発行人 高水 武夫
編集責任者 箱崎 淳
青梅市西分 3-103
郵便番号 198
電話 (0428) 3-2171
2172

原稿毎月15日×切

つづつと成るくして

こころざしうびゆく日を

近江路に染の花咲いて

かいつぱりしき沈むかな

一巻
しり





目次

☆ 時 論	先進諸国の医療形態を探る（其の七） 社会保険の始祖、西ドイツに就て	小泉 新策	1
☆ 随 筆	悠 丘	近藤 肇	7
☆ 趣 味	古川柳に於ける「エロティシズム」(一)	上田登代一 石川 禿木	13 20
☆ 対 談	医師会昔話（その一） 横田寿照先生に聞く		15
☆ 半 頁 メモ			12
☆ 連載執筆者紹介	岸田壮一先生		19
☆ ニュース			21
☆ 各部だより			27
☆ 編集後記			29

先進諸国の医療形態を探る

〔其の七〕

社会保険の始祖、西ドイツに就て

日医代議員 小 泉 新 策

西ドイツは七ツの国と境を接して居て十一の州と西ベルリン、ハ
ンブルグ、ブレーメンの特別都市より成り立っている。それぞれの
州は憲法を持って居て政府、議会、裁判所が独自の主権を行使して
いる連邦国家である。

ドイツが近代的な統一国家を作り上げたのは一八七〇年で、それま
では封建諸侯が割拠して領土と王権の争奪を繰り返して、せいぜい集
合体以上にはなり得なかった歴史を持っている。この歴史的な経過
は東と西に天然の要害を持たず、そのため常に東西の国境を侵害さ
れる地理的宿命による他国家との力関係を維持せねばならず、更に
東はスラブの未開地帯と、西はフランスの文明地帯との中間に挟ま
れた複雑性がドイツの近代的統一国家への道を困難にして居ったの

であるが、このような群小国家より統一国家を作り上げたのは、ビ
スマルクである。一八七〇年、鉄血宰相の綽名の如く、ドイツの帝
国主義中央集権政治を確立するために鉄腕を振ったのであるが、こ
のビスマルクは国家統一を行ったのみでなく社会保険制度を確立し
た始祖でもある。

労働者の社会主義化への防止のための「鞭」として健康保険法とい
う「飴」を与えたのだと後世評されているが、保険法は一八八三年
に発足した。これが世界最初の社会保険である。更に一八八四年に
は労災保険法を、一八八九年には癱疾・老令保険法を加えて、これ
らを統合して、ドイツ帝国保険規則法(RVO)となったわけであ
る。RVOは今日でも西ドイツの社会保険制度の骨格をなすもので、
第一次第二次大戦の洗礼を受け帝国主義国家は解体され、中央政府
の行政機能の分権化、地方自治体の強化、国家経済の自主・自由へ
の解放となり、幾多の制度の改革を加えて今日の如き保険制度が出
来上って来たのである。

第二次大戦によって主要都市の七割が灰燼に帰し、市街は戦火に破
壊されて瓦礫と化したわけであるが、而も東西分裂国家という悲惨
な運命を担う破目となり、かの「ベルリンの悲劇」が生れたのであ
るが、マイスター制度という画期的制度の導入により、工業優先の
指導理念で復興を早め、寄跡的な経済復興と発展を遂げ今や新興都
市としての形態を立派に完備しつつあるわけで、生産を優先とする
経済成長の裏には、日本と同様、幾多の公害問題も住宅問題も取り

残されがちで、まだまだ再建途上にあると云える。物価は日本も同じ上昇しつつ、通貨は変動制採用後も尚不安定であって、国民生活は決して平穏とはいえない。生活の重荷と高福祉のための重税と社会保険料の高負担とは、西ドイツ国民には極めて重大である。

西ドイツの社会保障は総費用の中で年金の比重が極めて高いことが特色である。

一九七〇年の社会保障の総予算が七八〇億DM（一DM九八円、一九七〇年十一月）、そのうち六〇％の四七〇億DMが年金保険、三〇％の二三〇億DMが健康保険、三〇億DMが労災保険である西ドイツの年金保険の比重と日本の健康保険関係費用の六〇％を占めて居るのと全く対照的である。

西ドイツの年金保険は労働者年金保険と職員年金保険が主であって、労働者対照は約一六〇〇万人で、保険料率は労働者も職員も同様に税込み収入の一七％、老令年金受給資格は男子六十五才から、この条件として十五年一ヶ月以上の保険料の払込みが必要、女子では六十才から、十年一ヶ月以上の払込みが必要条件である。女子が男子に比して体力消耗度が高いという理由で優遇されているが、現実には女子は長生きで受給期間が男子より延びている。

西ドイツの人口は約六〇〇〇万人、その中六十五才以上の老人層が七二〇万人で一二％を占めている。その中女四四〇万人で全女性人口の一四％相当である。ヨーロッパでは五五〇〇万人のイギリスも、五〇〇〇万人のフランスも格司型の年金構造である。

我国でも将来ヨーロッパ並みの人口構造が予測されて、老人の生活環境の改善の急務と保障問題の確立が財政につながる大きな問題として取り沙汰されている。現在の日本の人口一億の中六十五才以上七％、十年后には一〇％を越すものと推定され、現在の西ドイツや西欧諸国の当面して悩んで居る諸問題とはほぼ同様となるであろうと考えられる。

西ドイツでは年金保険は、労働者も職員も一律に、一九五七年以来、収入額に関係なく原則として強制加入方式がとられていて、年金保険給付は平均賃金変動にスライドさせる年金自動調整方式が適用されている。スライド率は毎年議会で決定する。又この年金保険のスライド方式が今年から健康保険にも導入されることになった。

西ドイツの健康保険は疾病の給付と出産の給付であるが、疾病給付は医療の給付、傷病手当、入院手当であって、医療の給付は疾病金庫（日本の基金に相当する）と契約をして金庫から直接報酬を受ける。医師及び病院、薬局薬剤師何れも現物給付で、その内容は一般医及び専門医による外来診療、必要と認められる病院医療、処方薬剤（疾病の当初一〇ヶ月間は一処方ごとに少額の一部負担金を徴収する）、歯科医療、分娩時に於ける助産婦又は医師の介護、特定の補装具、移送費（金庫により付加給付あり）等である。支給期間には制限はない。但し入院は三年間内に七八週と定められている。被扶養者の医療給付は被保険者と全く同じであるが金庫により薬剤支給の際に一部負担の割合が大きい場合がある。

出産一時金として妻は三五DMを支給される。傷病手当金は最初六週間は収入の六五%、以降は七五%、第一子につき収入の四%、第二子及び第三子につき各三%の加算、待期一日、支給期間は三年間に最大七八週。当初六週間は賃金取得者に対し、使用者は賃金全額と保険給付の差額を支払わねばならない。

又俸給取得者に対しては俸給全額を支払わねばならない。出産手当金は収入の一〇〇%、産前六週間、産后八週間支給する。出産一時金は出産に五〇DMを支給する。

保険への強制加入の有資格者は労働者と年収一四四〇〇DM（約一三六万八〇〇円）以下の職員、年金受給者、失業者となっている。国民の九〇%が健康保険の適用を受けており、残り一〇%が民間保険会社と契約してこの外に僅かの数の自費負担の金持層がある。保険料は税込み収入の八%で、労使それぞれ折半に出している。

西ドイツの健保適用者は、被保険者二九七万人そのうち一般強制加入者一六五〇万人、年金受給者七十七万、任意加入者五五〇万、家族（被扶養者）二四〇万人、総適用者合計五三七万人、西ドイツ人口の約八八%相当、健康保険の運営は各種職種組合病症金庫とか地方疾病金庫とか種々の金庫によって行われている。金庫の数は二〇〇〇を越える。

疾病金庫は完全な組合主義であって、強制加入の保険の場合は、労使双方から選出した同数からなる理事会で予算編成がなされる。

労使折半の保険料で、予想せざる不慮の支出までも賄うべく法令で

義務づけられている。西ドイツでは一疾患につき三年間に七八週までは患者負担がないが、それ以後は疾病保険の枠からはずされる。

長期療養を要するものは年金部基金によって取り扱われる。そのまゝ入院を継続するためには全額自己負担せねばならない。また普通の保険患者を扱う一般病院にも、まったく私費扱いの上等な病室がある。入院中は処方される薬品については二〇%の負担があるが、一処方につき二、五DMで（約二四六円）頭打ちとなる。

西ドイツには上級病室や上級看護のための差額について肩がわりするため民間保険会社による保険がある。これは今日の日本の医療事情でも必要なことであると思われる。

ドイツに於ける健康保険は、その出発当初に労働者の労働管理が目的で出発している。随って前述の如く医療給付に比べて傷病手当金の支出が上回る状況であったわけである。

労働者は職員と異り収入に関係なく保険に強制加入させられるが給付については傷病手当の面で差別がある。これが労働者負担が過重となるので労働組合は数十年の間待遇改善運動をつづけて、一九五七年に労働者のための賃金継続支払法が成立した。それまでは職員は病気休職の場合六週間、使用主より給与が継続支給されることに定まっているのに、労働者は病気欠勤のその日より賃金支払を打ちられていた。処が一九五七年、病気欠勤の初めの六週間は使用者と疾病金庫の両方から合せて賃金の九〇%を支払うことを確保し、更に一九六一年には労働運動が実を結んで前記九〇%を一〇〇%に引

き上げること成功した。近代社会の中では産業の工程が高度化するにしがって、実質的には、ブルーカラーの労務内容も、ホワイトカラーの職域内容も何れも労力型より頭脳型に進化しつつあることを認識して、一九六九年、ブランド内閣成立を機に改正され、翌年一月から労働者も職員と同等の権利を確保したのである。以来この改正で労働者に対する六週間賃金継続支払の期間中は傷病手当の給付を免れることとなり、このための財政負担軽減総額約三〇億DMとなり、反面企業者負担が過重し、特に小企業主への救済問題が起るに至り、特別基金が設けられて労働者のための賃金継続支払の費用に当てられることとなった。

一九七〇年一月から職員の健康保険への強制加入の報酬限度額が引き上げられ、一挙に年収一四四〇〇DMとなった。これまでの報酬限度額は一九六八年までは一〇八〇〇DM、六九年八月から一一八八〇DMに（月収九九〇DM）に改訂されていたものである。尚六九年末に於ける職員年収平均は一二〇〇〇・一三二〇〇DMであったのである。労働組合運動の成果に反映して職員組合も運動を起し、理由は労働者は月収一二〇〇DM以下でも強制加入となり、而も健康保険料は労使折半であるのに、職員は月収一二〇〇DM以下でなければ加入出来ず、その限度額を超える所得の者は民間保険会社の保険と契約しなければならずその保険料は全額自己負担するより外に方法がない。この不公平に対する主張が実を結んで一九七〇年五

れた。その内容の特色は、健康保険の強制加入の報酬限度額改定の方法として、年金保険料算定の考え方を導入し、平均賃金給与の上昇に対応して毎年自動調整するスライド方式を採用した点にある。

そして報酬限度額の算定は年金保険の保険料算定基礎額の最高額に對して七五%とした。このような進歩的な法案を採用するに至った理由は、毎年この問題をめぐり政治論争が熾烈で、何とかしてこれを排除したかったこと、医療費の上昇は年率平均約九%を超える状況がつづき、より高額所得者を加えて共同負担の拡大をはからなければ一般被保険者負担が増大するばかりであること、又民間保険会社に對して潜在顧客の所在が把握出来て経営計画を樹てるのに役立つ指標を与えていること等であって、この法案が労働社会委員会で審議されたとき、議員案のすべてをコンピューターに組み討議の資料とし、政治的な所謂駆引きでなく、全く計数的な判定によって決定したという立派な経緯によって出来たスライド方式である。この点日本の政府も政党も、保険関係団体も見習うべきである。現在日本でも中医協の場でスライド方式が提唱されて論議を呼んでいるときが、その準備段階に於て整然と資料の提出がなされこれの討議を計数的に決定する絶対不敗の態勢で臨まなければ、その成果を改めることは容易なわざではないと思われる。

西ドイツではドイツで健康保険が発足した当初医療給付の費用は傷病手当支出額の約六割程度に過ぎなかったのであるが、現在では賃

ている。

医療給付は一八八三年保険診療発足以来終始一貫して、保険医師の治療や薬剤師による薬剤投与は現物給付を建前としている。これは我国の健康保険制度のオリジナルとなっているものであるが、医師に対する報酬の支払は保険医協会と疾病金庫の間の診療契約にもとづいて協会から個々の医師に支払われる出来高払方式である。報酬は一九六五年から実施された医師料金規定を基本として、疾病金庫の財政状態、賃金の経済状況と見合せて契約をされ、現在ではこの支払は料金規定の一二〇%となっている。

西ドイツに於ける健康保険の総支出は一九六三年が一一億DM、六八年が二一六億DM、七三年には三一二億DM（約三兆〇九七六億円）、その医療費増高は年々九%強である。この医療費増高の要因は何であるか。これ等について一般世論は、先づ医学の進歩を上げている同時に国民の不均寿命の伸び、病気の形態の変化、特に病態の変動に就ては人口構成の問題が要因となる。医師、看護婦等医療従事者の報酬給与の年々上昇、医薬品、新製品の開発、発売、又これ等の研究費の増大等が医療費増高に拍車をかけていると見られる点であるといっている。製薬工業協会は、医療費の増高の要因が薬物使用量の増加と薬価の上昇にあるとの非難に対して、次の如く反駁している。それは国民の寿命の伸びと治療投薬の進歩開発によるものであると強調し、特に老令層、年金受給者に対する投薬量の増加がこの主要因であると指摘している。

西ドイツ医師会の見解として、この問題に就て次の如くに述べている。

一般労働者の賃金上昇のあると同様、医師を初めとする医療従事者の賃金上昇があり、又治療面でも学術の進歩による物理的、薬理的の新技術の開発普及が積極的に行われて居り経済成長に伴う物価上昇への適応と、成果の配分、さらに医療の質的向上に見合った医療費の成長、これが総医療費の増高の要因であると強調している。

更に健康というものは進化した社会に於ては何ものとも替え難い、「財宝」であり、その財宝を活用するためには自動車などの機械と同様常に手入れが必要である。従って今や医療は治療の面から予防の面へと移行しつつある。医師会としても近年の疾病金庫の支出の中で薬剤費の上昇率の高いことに強く関心を持ち、先進諸国の健康保険支出と比較研討して、次の点を指摘強調している。西ドイツ医師会として最も警戒していることは「政治的な或グループが健保支出の抑制策として医療の国営化を考えて居り、このグループの人はジャーナリズムに積極的呼びかけて、この制度を統合する方が経済的で費用低減に寄与することとなるとキャンペーンを行っている」ということである。

医師会は自治と自由を守るため、まづ医療費の上昇を「理性的な範囲にとどめる」ことを念願としていて、各州の医師会々議所や保険医協会に呼びかけて、セルフコントロールを行うことを推奨している。西ドイツに於ける具体的な医療費の抑制策は早期発見「治療よ

り予防へ」の推進であって、疾病金庫の負担に於て被保険者及びその家族の早期検診を行うことが一九七一年七月から発足している。その内容を挙げて見ると

①乳児から五才児までの健康診断

②女子三十五才より子宮癌と胸部検診

③男子四十才から前立腺と大腸癌の検診が行われている。

又医療費増高を抑制し支出軽減を計るために具体策として保険料の償還制と薬剤費の一部負担が実施されている。保険料の償還制は受診抑圧が目的で、年間三〇DMを上限として四半期ごとに一〇DMを無受診の被保険者に償還する方法で、一九七〇年一月から発足している。過去に於ては被保険者及び保険医の診療を受けるのに、予め所属の疾病金庫から受診票の交付を受けておくが、その受診票交付に際しては一DMを支払うこととなっていた。だが医師側では患者を増したいし、被保険者やその家族も医師と友好関係を保ってほしい気持ちから、診療の必要もないのに受診票の交付を求めて保険医に預けておく、その結果乱診傾向を助長し、又仮空請求等の不詳事件も発生していた。一方所得の上昇から一DMでは抑制効果に乏しいとして二DMにの改訂案も提出されたが、この案は早期受診の機会を失するおそれありとの理由から議会では否決され、そのみでなく旧来の一DMの交付料も廃止となり、これに代って保険料の一部償還となったわけである。

この受診票交付料廃止と同時に薬剤費の一部負担も改訂されて再発

足している。(次号につづく)

紙ガーズを使いましょう

商社買占めによるガーズ不足が問題になっていますが、大聖病院では全使用量の半分は紙ガーズを使っていて、大変好評とのこと。百枚一包で三百円、吸湿性、伸縮性がある蒸気滅菌しても丈夫で簡単には破れません。商社に対抗して布ガーズの不買運動のためにも、又安くて使い捨ても出来ますから是非使ってください。大聖病院から見本を一包寄付していただいて、医師会館に置いてありますから御覧下さい。

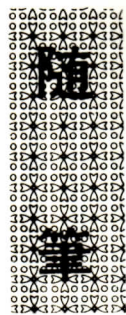
売 り ま す

◎品名 中古胃ファイバー・スコープ・カメラ一式

型式 GTFIS 買入年 昭和四十一年

買入金額八十五万円 売渡金額十万円(下取金額に同じ)
程度完全 即時使用可能 講習券添付 判読法等のコツも
御教え致します。

(三沢医院 電〇四二五―五八七〇―)



悠丘

「サラーリーマンになったって仕方ないじゃないか、家の跡を継げばよいのに……」
という両親の言葉に耳を籍さなかった私は女房と結婚するとき「絶対開業医にはならない」と約束をし、女房はそれを固く信じた。厚生省入りを薦められていた位だ。

「まさか……」と思ったのに、町医者になり下ったのか成り上ったのかの私の変身は、いくら戦に敗れたためとは言え、公約違反として久しく責められた。

厚生省入りをしていたら、多くの先輩が局長であったり、今も、後輩の松尾君、加

近藤 肇

倉井君などが局長になっているだけに、私も医務局長か何かの局長になっていて武見日医会長とやり合っていたかも知れない。

「ウヌボレるでないよ!」の声が聞ゆ。いかにもその通り。実際は今頃、どこかの県の技官かになつていて、医師会から嫌われるヤリ手官僚ならぬヤラレ手官僚、定年を数年後に控えて考え込んでいたかも知れない……。今の世だったら、ゲバ学生、新左翼の若き血に燃ゆる反骨、反権力、野党精神が旺盛な青年だったろうから、とてもすんなり役人生活なんかを送れた筈はない。

當時、かつて慶応の教授だった金井章次氏は、蒙疆自治政府の徳王の最高顧問になって威風あたりを圧していた。鵠の真似をするカラスだったのか、或いは、カラスに突然変異を期待する愚かなヤツであつたのか、とにかく、そんな姿にあこがれた。

「ぼくも行くから、きみも行け」

せえまい日本にや 住みあいた” だつ
た。

パールバックの大地が広く読まれていた。大東亜共栄圏の国策、アジア関係の本が多く出版された。戦後の思想家や評論家、進歩人ぶった人が何をいおうと、少くとも地球は一つ、人類愛は普遍という考えが自分の中に形成されて、アジアに舞台を求めている。孫文の思想、宮崎滔夫の影響もあった。今、書棚にある手垢に汚れたマンソンの熱帯病学を見るとなつかしい。

✕
 ✕
 ✕
 ✕
 ✕
 ✕

昭和十三年の夏、徐州へ徐州へと人馬は進むころ、ノリリと学校を離れ、朝鮮半島を経て満州に渡った。大連郊外の小平島に

あった東洋一のサナトリウム南滿洲保養院で一カ月勉強のかたわら、滿蒙支無錢旅行の作戦を練った。

最初、滿鉄からコレラ、ペストなどの検査の仕事を与えられて撫順の駅頭に立つ。一日二円の日当では、滿ソ国境の滿洲里までの往復運賃を稼ぐのがやっと。どういふ要領を駆使して、どうゴマすって、滿鉄の人にとり入ったか今は覚えていないが、滿鉄全線無料で乗り廻せる「防疫」の腕章と、「身分証明書」を手にして奉天を出発した。カツシンベックのような、或いはカラアザールのような奇病が、北滿の密林の中の開拓鉄道建設現場に多発し、その調査団に加わる。単身、その一団と離れて警護隊員に伴われてトロッコで鉄道のあるところまで辿りつく途中、匪賊に襲われたりもした。共産ゲリラの情報におののきながらも辺境の開拓地訪問の好奇心を満足させもした。大長安嶺を越えるとホロンバイルの大平原は感動的だった。何とも素晴らしかった。太陽ははるか数百キロの地平線のかなたか

ら出て、四キロの西の果てに沈む。これこそ赤い夕陽の滿洲だ。ハイラルから北に無人の二百キロ、国境に近いナラムト、白系ロシア人の民家に泊り、或いは西南百キロの砂漠にトラックを進めて、年一回旧曆八月一日を目指して蒙古人が移動して集る物々交換の市が開かれるのを見に行く。翌年ノモンハレ事変の勃発したハルハ河の近くで二回もトラックは湿地に埋り、はるか遠くの方から蒙古人を集め牛にひっぱらせて三日間の悪戦苦闘、日が暮れば案内されて蒙古人の移動の住家たる包に彼等とゴロ寝の夢をまどろむ。交換市で手に入れた静岡と記された固形茶を削って、羊の醃酵乳に混ぜてのもてなしを受ける。大自然と悠久な彼等の生活の中に人間の心とはんらいの宇宙というものの姿をみて感動した。

悠遠な自然、悠久な砂漠と草原の丘に、大自然と生命というものを知った私は、人生観と世界観に非常に大きな変化をもたらしたのだった。

滿洲から北支に向った。

滿洲でも北滿の密林、ホロンバイルの大平原と、北支の原野とは風景や味わいは異質に感ずる。

北京で、滿鉄からの紹介のお陰で、華北交通全線の無料乗車のできる防疫の腕章を貰う。

大国では、千古の歴史の風雪波瀾にたえた石仏を見、蒙疆自治政府のある綏遠では徳王に謁見、そして、黄河をへだてて敵と対峙する包頭の最前線へ。包頭を私が去ったあと、結氷に乗じて敵の襲撃があり、私を歓待してくれた民間人は守備隊と共に全滅したことをあとで知る。

× × × × × × ×

男装の麗人、東洋のマタハリ、十六才にして馬賊の頭目となった美貌の川島芳子に可愛がられたのは蒙疆の帰途北京から天津に行った時のことだった。

本名は金壁輝、寅年だといった。市の中心地で東興樓という料理屋を経営す。ボーイからコックまで全部馬賊時代の大隊長以下の幹部、兵は山東省あたりに帰農させて

あるとのこと。天津で開業していた樋口先輩に連れて行って貰ったのはじまり、六日間毎晩夕食をご馳走になる。樋口夫人は「ひどい梅毒を染されて馬鹿になったり、身上をすってんに摺ってしまった人が多勢いるというじゃないの……」と心配しきり。清朝二千年の茶碗を私にくれるというので連夜通ったのにもいつも茶碗にお目にかかれず、又あしたということになる。

「ごめんなさい、明日こそ大隊長に命じて押入れから探させておくから……」との彼女の言を信じて七日目に又行く。

門は堅く閉ざされていた。日本憲兵隊に逮捕されたのだった。

彼女は日本憲兵隊からはスパイ、蔣政権からは国賊とされ、街には「売国奴金壁輝懸賞金伍万元」の貼紙が見られた。彼女はこの翌年一度市中で銃で撃たれたが、戦後、捕われて上海で銃殺刑に処された。

「私は支那を愛する支那人ですよ」といった彼女の言葉が印象に強く残った。私の書斎には私に書いてくれた色紙二枚「一剣答

君恩」の「龍飛鳳舞」の達筆が掛っている。

茶碗を手にしようと一週間も天津に余計にいてしまったため、直ちに南下して徐州から南京に向おうとしたが、済南から徐州方面は、徐州が陥落したとはいえ、軍用鉄道は常に寸断、とても便乗させて貰えるどころでなく、やむなく済南から青島に出て帰国し、六カ月の無銭旅行に終止符をうった。

よき時代だった。大学の講義は友人が交替で代返をしてくれていて、「お前が学校にきているときより、ズッと出席率がよいぞ」という按配。又、試験はオールA。教授会で一時間の報告演説をしたご利益あらたかという結果だった。

× × × × × × × × ×

昭和十五年の夏

私の家の二階の座敷には、医師会のお歴々がお集りになっていた。光栄にも私が中支の前線に向う壮行会を催して下さったのだ。

横田静蔵会長のヤカン頭にネグリ鉢巻の名物タコ踊り、田舎の医者には珍しく端正な、オット失礼、山田正礼先生、若い奥さん

を貰った五日市の今川先生、人望ある村長の風格は増戸の坂本富雄先生、巡査から苦学力行の壮士然たる熊川の江藤先生、どっしりとした篤望家然とした霞の百瀬先生、昔は酔うほどに日本刀を振り回したという氷川の川内先生はおとなしく愉快そうに笑う。御岳の若大将福田実先生の快気焰、青梅では共に交互のように町会議員をやられた眼科医の鈴木先生と大越先生や、目を細め仏様のような笹本義広先生たち何れも故人となって久しい。出席者のうち、ただ一人ご健在なのは、当時から美事な銀髪で温顔の横田寿照先生だけである。大河原由蔵先生は西多摩一の流行医で町民の信望厚く町議もやられ、戦後東京都公安委員にまでなられたが、その時出席されていたかどうか記憶にない。先生については「夜中に一人で歩いているのは泥棒か大河原先生だ」という伝説があった。

私の家は医師会の事務所となっていた。人をもてなすのが好きの父だったから、毎月の国民保険の審査会のはかに、何かにつけては皆さんが集ったようだ。私の留守中女房は書記となり、通知文のガリ版刷り、発送、講習会への出席、更には皆さんのホステス役。

戦時下、だんだん物資が欠乏し、医師は比較的恵まれていたが、それでも、家へくるとご満悦だった。配給の乾パンを貯めておいてフライにして砂糖をまぶしたもの、ジャガイモやサツマイモの甘露揚げなど、父や女房は先生方のために配給品や貰い物をためていた。父は酒がのめないで、配給の酒もたまり、皆さんのためたつぶり量があったらしい。

先生方は、それ等を楽しみ、出された保険請求書を見て、ケチをつけたり、ワイ談にふけったり、配給の衛生材料の割当に当って、「この先生は患者が少ない、こんなに要らない、俺んそこ、もっとくれよ」なんてやったものだ。

わが家の二階は御岳大岳連峰を一望のうちに収め、頗る眺望はよい。かつて、中里介山は雪の日には好んでこの二階に遊び、長編大菩薩峠の構想を練ったという。はたして医師会の先生方、どんな構想を練るのに役立っただろうか。「近藤先生のところへくると、ご馳走があるから楽しいね」だけは確かだったらしいが。

× × × × × × × ×

昭和二十年春。当時私は千葉県の浦安にいた。それまで中支の作戦や香港攻略戦とその後ひきつづきの広東周辺作戦に参加し、戦局が悪くなってから、潜水艦にやられながらの兵員輸送で、サイゴン、プノンペン、バンコック、マレー半島、スマトラ、ジャワ、シンガポールと回ってきたりした。

内地勤務となり間もなく、硫黄島方向増援部隊に転属になったが、戦局は益々不利で、硫黄島に行く輸送船はないし、出発しても辿りつく公算は余りない状況だった。動きがとれず浦安の小学校に可成り長くとどまっていた。そういう時、兵に買わせにやつ

た鰻と、二本の水筒につめた将校用配給の酒を持って青梅へ帰った。

或る夜、たまたま医師会の先生方が集っておられ、その鰻とお酒に満足された。医者はいつ救護班で出勤するか判らないし、深酔いはできないのだが、この日は酒が豊富だったため可成りいい気嫌になられた。ところが、警戒警報なしでいきなり空襲警報となり、もうB29特有のうなりが無気味に聞え、満地峠の方で高射砲がパンパン鳴り出した。一瞬にして酔いは醒め、庭の防空壕の中で、皆で肩を寄せ合って息をこらした思いもある。あの時、たしか、山田先生もしたたかお召しになり、川内先生と福田先生は可成り酔っていられたように思う。

翌朝、廃墟の東京を通過して部隊に急ぎ、浦安橋を渡り切ってわが隊の厩舎の前にさしかかると、警戒警報が鳴ったと思う間もなく、いきなりどんよりした雲の中から、ドドーンと数発、思わず土手に身を伏す。田んぼに落ちた爆弾のため、泥んこが、身

体の半分を埋めた。目の前はと見ると兵の姿が見えない。馬が二頭斃れていた。

栗林兵団長以下の硫黄島守備隊は全滅した。私たちの増援要員は、本土決戦という急迫した事態のため、九十九里浜沿岸陣地の構築のために回され、大東岬から一の宮海岸一帯に拠点をつくりはじめた。タコツボは一つも堀られなかった。攻めてこられたら数時間と持たなかったであろう。

× × × × × × × ×

戦争は終わった。

私のアジアの夢は消えうせた。

あれから二十有八年、一時しのぎのつもの町医者も二十二年に及ぶ。女房との約束のためではないが、四十才になつたら何かに転進しようと心に決めていたのに果たせず、振りかえって慚愧に堪えず。人生不惑の年ともなれば迷わず迷わされずと考えたのは浅はかの至り、迷い迷わされて四十才台はムナシクただ白髪を増しただけで過ぎた。

西多摩医師会報四月号「古き先生を訪問

して医師会の昔話を聞く」というのが目にとまった。前から藤野是常君から、何か書いては、と半ば要請もあったので、知る人の少ない「戦中戦後の医師会事務所時代」を語るつもりで、書き出してみたら自分の回想録になってしまった。

かつて、最年少の西多摩医師会理事として、又就任はしなかったが最初の東京都医師会代議員選挙に選ばれ、保険医斗争では東京地区のリーダー役の一人となったり、公選青梅市教育委員になって市政の中で暴れたり、六ヶ月間の欧米放浪の旅をしたり、厚生省坐り込みでテレビに出たりした当時の輝やかしい青年将校は既に早く退役して消え去り、西多摩医師会員の半数以上の人々を知らない。

日本医師会にはビジョンがない。理想のアプローチへの行動がないと十数年前に批判しつつあった私。武見長期政権のお先棒をかついてきた医政人は歴史的に武見太郎氏をどのように評価するだろうか。武見日医が十年早く積極的行動を起していたら、又、

十年前のインチキ総辞退がホンモノだったら私は武見氏を歴史的に高く評価したであろう。「日医の行動にはビジョンがない」と、十年前に総辞退を批判した私の朝日新聞声欄への投稿に対して、各地の医師会幹部から反撃の声があった。だが、私の予想通りに事態が運ばれたことは日本の医師にとつては不幸だった。

九十九里にいたとき、遺稿集「敗北の理想主義」というのをものした。「理想は常に少数派であり、時には異端であり、予言者は呪われる」と。

四十才以後の転進の汐時とばかり、私はバスをひとり降りたのだった。

× × × × × × × ×

ホロンバイルの悠遠なる丘、以来、尚、青春の血の残る私は転進後の新しい夢を追った。産科医の悲哀、三百六十五日、毎日二十四時間の万年当直医は、女房を連れてゆつくり温泉に楽しんだこともなく、ゴルフも麻雀もない異端の生活。だがホロンバイルの悠遠さには遥かに及ばないが、北海

道洞爺湖に夢を託した十余年のプロジェクト、理想をかかげたマスタープランも具体化の曙光をみるに至った。既に毎年夏には一日五〇〇人の青少年が私のキャンプに集り、私の築いた自然の丘には、道立少年自然の家が今年五月五日にオープン。土地投機の大資本の触手に抵抗し、億単位の……チト大げさ？ 札束の誘惑に負けずに私は今、森と緑と湖の自然百万坪を中心に、理想の丘の建設のきざしが見えたのを楽しむ。人に先んじて憂い、人におくれて楽しむ、いや、人の楽しむのを見て楽しみ、自分は万年当直医の一生を送るのかも知れない。

(完)

会 員 計 報

福生市に開業中の豊田正穂先生が四月十五日夕心筋硬塞のため急逝されました。是に先生の御冥福を心からお祈り申し上げます。

半 頁 雑 記

正常値、境界値のよみ (その二蛋白尿)

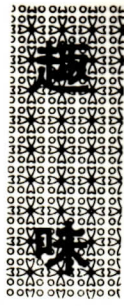
試験紙によるスクリーニング検尿の際蛋白陽性で直ちに腎疾患(腎炎?)とされその処置及指導がなされる事がままある。

A 技術的変動

我々が使用している試験紙はPH指示薬であるテトラブROOMフェノールブルーの蛋白によるPH誤差を利用した方法である為試験紙端にこの指示薬と一緒に付いている緩衝剤の緩衝能力以上の強アルカリ尿では偽陽性を示す。この為採尿後長時間放置した尿では腐敗の為アルカリ性となりやすく本法で陽性を示す事が多く、また試験紙を長い間尿に浸すと緩衝剤が流れ出しその為に陽性を示す事もある。したがって本法を用いる場合は新鮮尿を使用し試験紙を尿に浸したらずぐ引きあげ直ちに色調の変化を読む事が大切である。この際出来ればPHの同時測定の出来る試験紙の使用が望ましい。

B 生理的変動

種々の生理的条件(過度肉體運動・入浴・精神感動・大量卵白摂取后など)によって一過性蛋白尿がみられる。特に若年者の体位性蛋白尿(起立性蛋白尿)には充分注意しなければならない。(N)



古川柳に於ける

「エロテイシズム」(一)

上田 登代一

一応匿名や偽名でと考えましたがどうせ一部の方からは間違ひなくこの謹厳な小生をどうしたことが想像されるのが落ちなので敢えて本名にしました。この心情を不憚と思われましたら御令室方には何卒内密にして頂き度く思います。今年の様な同好医会の形式ですと「いやらしい先生」と云う事で出席不能になりますので……。

楮て本題に入りますが二百年前、前句まへくづけ付から生れた川柳は俳句と共に大衆的文学として発達し宝歴から明和、安永、天明を経て文化文政天保時代に入ると、俄然所謂ボルノ調を帯び一部の道学者からは忌み嫌われ

ましたが、果して之れを川柳界の墮落と簡単に思考すべきでしょうか。あの坪内逍遙でさえ「世界に類例の無い人事詩、古代ギリシヤ、ローマのエピグラムより遥かに平民的奇警で心の秘微を開く鍵、古往今来何処の国にも無い誇り得る芸術」と讚美して居ります。昨今日本人のユーモア性の欠如を鋭く外人から指弾されてますが「滑稽味」「軽快味」「皮肉味」の三大分子を具備した当時の川柳を今日こそ再認識する必要性があるのではないでしょうか。以下小生が愛好して止まない含蓄のある深遠な名句を羅列して見たいと思います。諸先生方の心

の琴線に例令一句でも触れるものがあつたとしたら筆者の喜び、之れに過ぎるものはありません。

木の股ぢゃないと子供も知つてゐる
早い智恵坊はぼゝから生れたよ
琴爪をちんぼうへはめ叱られる
まゝごとにおちんこがあり旦那様
雛のけいせいをまくつて叱られる
乳母こゝはなんだと足で毛をなでる
おっかさ坊もいくよと目をさまし
お使いが犬のさかるで遅うなり
皆んな留守猫の交尾つれあひをよつくみる
お茶つびい少しまくつてあかんべい
止しねいと前を合せるおちゃつびい
ひとり者たちつてと故かきくけこ
もてぬ奴へのこと腹を立てるなり
(下が未だ元氣なだけ羨ましいですネ)
氣の毒さへこの許りに脈があり

へのこから朝起きをするひとり者

厄介を股倉に持つひとり者

馬鹿の癖に女の好く物を持ち

寝おきから気嫌のいゝのはへのこなり

独身が寄つてへのこの力業

(夢多かりき杳き中学時代を想い出すや切なるものですヨネ)

時候たがえず十六の春に生え

生へ際え手をあてて居て鞠をつき

生娘させそうにしてよしにする

生娘にしたたかへのこ引っかれ

生えていやすよと手ぶしを叩き退け

あたり見回し絵の所娘あけ

股倉を娘のかくの憎らしさ

股倉を好もしくする緋縮緬

(当節ならば花模様や幾何学的模様の色物パンティーと云うところでしょいか)

相方の無いは踵で骨を折り

余つ程の疵^{きず}を夜這いは秘しかくし

けちな晩廊下ばかり音がする

蚊帳一重でも夜這いにはきつい邪魔

針先をよけよけ股へ手を入れる

押入れの味から雷好きになり

抜き足で泣くのを聞きに五六人

見つかつて御用せんずり捨てて逃げ

未だ伸びもせぬにもう来る麦畑

麦畑ざわざわざわと二人逃げ

大腰に使うと麦の上に出る

これからは何処ですべいと麦を刈り

痛い事ないと娘を口説くなり

云い訳もあるのにさせたからした

尋常にさせろはとんだ口説き様

口説く間が無くて理不尽つかまつり

したいとは儲てもつともな事を云う

させたいとしたいは直ぐに出来るなり

させろより男冥加はしてくんな

理想よ！

口説きようこそ有るうに手を合わせ

そうむごく云わぬものだとにぢり寄り

胎まねえ仕方があると口説くなり

胎んだと聞き一人逃げ二人逃げ

雪隠を一人出て又一人出る

生きたのを箱入れにして事ができ

張形が出て母親をまた泣かせ

歩く度つけ根の見える憎いこと

あわび取りなまこのくぐる心地よさ

婚礼は親も娘も痛いこと

させに行くとも云われぬで嫁と云う

借金^{かみ}の穴を娘の穴で埋め

娘の股へ結納の錠が降り

仲人は早く開いてうちでする

今するかするかと怖く羞かしく

羞かしき覚悟の前へ割込まれ

槍^{やり}でも突かれる様に嫁案じ



対談

医師会昔話

(その一)

横田寿照先生に聞く――

話す人 横田 寿照

聞く人 菱山 正治



横田寿照先生略歴

明治二十七年、元禄年間からの医家に五代目として出生。昭和五年父業を継ぎ開業。昭和二十二年より二十四年まで西多摩医師会長、

その後顧問となり現在に至る。御開業前に母校慈恵医大の医化学講師、助教授を務められ、その御経験を生かし果実酒を御自分で作られて、毎日お飲みになるのが長寿の秘訣と御教示下さった。本年七

十九才。

× × × × × ×

門から車で入ると、鬱蒼と茂った木立の彼方に玄関が見えた。山中医院の名の通り、さながら箱根に遊ぶが如き環境、まさに公害ゼロ地。その中に先生のお住い及び診療所があった。

聞き手の菱山先生は、挨拶もそこそこにして文献を片手に、単刀直入ブルドーザーの異名の通りエネルギーな質問に入った。司会をあわてて途中話の腰を折って、昌頭のような対談の挨拶に移った次第……。

× × × × × ×

――御承知の通り、今年医師会創立六十周年ということでその記念誌を作るための基礎作りのためには、今度数回に亘ってお古い先生から医師会の昔話をお聞きすることになりました。まづ第一に最も古い横田先生にお聞きしようということで御伺いしたわけです。編集部からは一番古参の菱山先生に、聞き手役として来ていただきました。宜しく御願致します。

菱山 先生が理事をやられたのが昭和十三年から十八年までの五年間で、その頃の会長は大河原由蔵先生、副会長は横田静蔵先生、理事は先生の他に笹本義広先生、これは今の笹本先生のお父さん、それから山田先生と栗原憲式さんで、これは栗原先生の先代ですか

横田 栗原憲式？あゝそれは栗原正吾さんの兄さんだ。

菱山 ぢや栗原先生はそうとう古くからおいでになるんですね。

昭和十九年に都医師会西多摩支部になって支部長が山田正礼先生で副支部長に先生がなられた。

横田 終戦で会長は遠慮しろといわれたんで、それで山田先生が辞められた。



菱山 昭和二十二年に社団法人西多摩医師会になったその年の総会で、先生が新会長になられたわけですね。

横田 えゝ。

菱山 御開業になったのはいつですか？

横田 正式に開業したのは昭和五年頃だと思いますが……。

菱山 その頃は先生のお父様が会長だったんですね。

横田 そうですね。

菱山 副会長が大河原先生……。それまでは大学の方に残られていて、それからお父様と御一緒にやりになった。

横田 えゝ。

菱山 慈恵では衛生学の方でいらしたんですか。

横田 いや、医化学。

菱山 あゝ、今の生化学ですね。昔は医化学といったんですね。

昭和五年頃といえば、会員は何人位でした？ かなり理事の先生が出ていらっしやるから……。

横田 三十人位だと思うね。氷川に野村さんというのがいて、それから福田君、青梅にいつて鈴木君、宮岡さんに笹本さん、大河原さん……。青梅に六、七人、こっちに來て江藤先生、それから菊池

先生、五日市で野口先生……。三十人位じゃないかな。初めて理事になった時、大河原会長が常任理事を二人ばかり置いた。そして毎週土曜日だったか月曜日だったか日は忘れたが、どっちかに二人が集っている話を決めていたですよ。

菱山 その時、勝沼の大越医院さんに事務所を置いたとありますが、そうですね？

横田 えゝそうですね。

菱山 十三年頃の理事で、今残っておられるのは先生だけですね……。

横田 そう……。開業した年だったか、その一年位あとだったか、学校へ救急処置法の講義をしてくれといわれて、可成り歩いたですよ。

菱山 開業したばかりちゃ、まだお若いから、そうこたえなかったでしょう（笑）

横田 えゝ、まだ若かったから……。昭和十八年だったか、無医村に定時診療をやれといわれて、西多摩には無医村が十分あったんで、私は多西村（現秋川市）に行きましたよ。

――先生、御開業になった頃は、お忙しかったですか？

横田 いや、そんなに忙しくなかったね。そう忙しくなかったけ

れど……。

—— 人口も少なかった。

横田 え、人口も少なかったですね。福生村、熊川村と分れていて昭和十五年に合併して町になったんで……。

—— 遠いから往診は人力車か何かで……。

横田 え、人力でした。

菱山 車夫はおかえか何かで？

横田 え、いました。

菱山 医師会の会合などは年にどの位あったんですか？

横田 定時総会以外には、臨時と、まあ年に四、五回位でしたかな……。その当時の予算といたって百円に足りない位だったから（笑）

菱山 横田先生が会長をおやりになっていた頃に、副会長が坂本富雄先生で、その時の理事は、石森先生、今の会長の高水先生、坂本先生に小泉先生、それだけは現在いらしゃるわけです。先生が会長をやっておられた時の事務所は、三枝欣二郎先生の所……。

横田 そうです。

菱山 二十六年の時に、その三枝先生の所に火事があつて、事務所が焼けて、それで羽村源一の所に移った……。

横田 そうですね。

菱山 それで福田先生が、突然に二十六年の一月、鉄橋を歩いていて……。

横田 落ちて死んちゃったんです。

菱山 それですぐ後を山田先生が会長になられた……。

—— 何か御開業

当時の面白いお話は
ありませんか？

横田 そうですね。

終戦前だったかな。

子供がひきつけたから来てくれというんで行って見たら、その子供を抱いているんだ。降ろして帯をといてみると、単の死んだのが出て来た（笑） 単が子供の着物の中に入ってきて、驚いてふるえ出したのを、ひきつけと勘ちがいして親が強く抱いたので、単



が死んだんだと思う。

菱山 それが往診ですか？

横田 えゝ、人力で行ったんです。

菱山 山中医院というのは何かいわれがあったんですか？

横田 昔は雑木林が沢山あったんで、山の中から山中医院といったんです。山田先生は堀のそばにあったんで、堀端の先生といっていた……。

菱山 先々代もお医者さんだったんですか？

横田 えゝ、漢方医でしたね。

菱山 寿一郎先生の上も？

横田 えゝ。

菱山 三代ですか？

横田 その前もそうだったらしいだけども……。

菱山 ずっとですか？

横田 その前二位位前まで、そうだったらしいんだけど、はつきりしないんだね。

菱山 そうすると、寿一郎先生の前は何というお名前だったんですか？

横田 甫介という名で、始めホノスケと云ってたらしいね。そのあと直したらしい。

菱山 その上に漢方の先生がいらしたわけですか？

横田 そうです。

— そうすると、場合によっては先生は五代目というわけですね。

横田 えゝ、まあそうらしいですね。

菱山 甫介先生は、こちらのお生れぢやないんでしょう。

横田 いや、ここらしいですよ。ここに来たのは元禄年間だから……。

菱山 先代の寿一郎先生は、何年位おやりになっていたんですか。

横田 五十年位。検定の医者で、普済生学舎というのがあったでしょう。あそこを出て……。

(ここで横田先生の奥様御出席)

— 奥様にお聞きしたいんですが、何か開業当時の面白いお話ございませんか？ 先生はもうお忘れになったとおっしゃるので……。

夫人 そうですね。昭和の初め頃でしたかね。往診を頼まれて、それが舟に乗るんだといわれて、いやになって出掛けなかったという笑い話があるんですよ。

— 舟に乗るって、多摩川ですか？

夫人 えゝ、昔は渡しがあったんです。

横田 夜のことで、こわくなつてやめたんです。

夫人 成木の方にも行きましたね。

横田 うん、こっちの大工が成木の方で、息子とも心安いから行ったのは行ったんだが、富士山に登るつもりで行ってくれといわれ、夜登っているうちは下が分らなかったが、翌朝下山の時は大変な崖で、よく登ったもんだと思つた……。

夫人 往診は昼間は自転車で、砂川までも行きましたね。

菱山 昼間は自転車、夜は人力ですか？

横田 そうですね。

菱山 話は変わりますが、先生は書道の方を大分おやりになる？

横田 いやいや。

菱山 山田先生が、記念誌の書の方は、横田先生にいつてましたよ。

横田 いまはもう駄目ですよ。

夫人 前に部落に頼まれて、天神様の大きい旗ね。あれなんかも昭和十二年でしたかね。そんなのも書いたことがありましたよ。

横田 近頃、二、三字書いていると、ふるえてきてね。

夫人 もう二、三年早いとね（笑）

— じゃあ今度、色紙を持って来ますから、調子のいい時に

（笑） 六十周年史の扉を飾る揮毫をお願いします。それでは大分

遅くなりましたので、この辺で……。 どうも有難うございました。

（文責 池田）

編集部からお知らせ

本誌第十一号までにお寄せいただいた原稿は、
医師会に保存してあります。会報専用原稿用紙
も医師会にありますので御利用下さい。

連載執筆者紹介

岸田壮一先生

前号までに、「漢誌の作法と歴史」及び「私の昭和史研究」の二つの連載を書いていただいた岸田先生は、福生病院以外の先生から、どんな先生か紹介して欲しいという希望がありましたので、ここに御紹介致します。（池田）

岸田壮一先生略歴



昭和十二年慶応大卒。衛生学教室入局、その年日華事変のため陸軍短期現役、引きつづき招集。終戦少し前まで戦地を往来し、復員後は国立療養所

中野病院（十二年勤務）、青森県大湊の元海軍病院長（八年勤務）

静岡県土肥の病院等を経て現在福生病院内科勤務。

岸田先生談

「漢詩の作法と歴史」は、おやじの親友にクリスチャンで漢詩を作る人がいて、その影響を受けて昭和十四年から勉強、今までの自分の知識をまとめる意味もあって書きました。また「私の昭和史研究」の方は、我々の年令の時代には、あの頃の政情、国の運命を左右したものに興味を持っており、特に米内光政は私個人として最も私淑しており、ひそかに尊敬している人なので、自分の知っている範囲でまとめてみました。御愛読を感謝します。

西 医 歌 壇

石 川 禿 木

山

人の世を見おろす如き五丈岩

榮枯盛衰秘めて語らず

逆巻ける積乱雲をふんまえて

氣高く富士の大空に立つ

その昔山狼の住むという

湯久保の峠春なほ浅し

松原を二つに分けて横たわる

浅間屋根に春の色めき

家庭

衣かつぎ子供の如く喜びて

選りどり食めば妻はとがめり

たわむれにカルメル焼のふくらむを

未の子はカルメル焼のふくらまず

頬ふくらめてひとにカルメリ

湘南医師会

漁火のうつる熱海の長き夜を

うま酒交わせ心解くほど

泊り灯のゆららにうつる浅渚

夜寄す波のなぜか悲しき

酔覚めて水差さぐる枕辺の

樋の雪に小夜時雨きく

七 夕

牛飼の手綱とどめて眺め入る

機織姫のみ目うるわしき

瀬はさらり湧はとろりと天上の

ロマンス流せ天の懸川

雨よ降れ降れ七夕の街飾り

銀河の逢瀬浅くなるほど

ニュース

地区医師会長協議会報告

四八、三、十六

高水会長

一、休日診療について

定例理事会報告参照のこと

二、昭和四八年度妊婦健康診査について

一、健康診査費

A 一般健康診査費

一件 一四〇〇円

内訳 診察 (保健指導を含む)

血液検査 (貧血検査)

尿検査 (糖・蛋白)

血圧測定

診断書料 (妊婦が持参した妊婦健康診査結果通知票

(丙) に診査結果を記入する)

B 梅毒血清反応検査

一件 四〇〇円

二、事務費

一件 二〇円

(請求書審査事務費、郵券代を含む)

三、昭和四八年度定期予防接種について

四、生活保護法の医療扶助における医療券の取扱い方について

医療券の「傷病名」欄の記載は、福祉事務所で記載せずに空欄のままとし、診療報酬の請求の際に指定医療機関が、現に診療した傷病名を記載する。

五、その他

定例理事会報告 四八、三、二三

出席者、高水、栗原、後藤正副会長、山田、福島、川崎、江本、

大河原、大橋、高木、瀬戸岡、近藤各理事。香西、坂本、菱山各監事。

一、都医地区医師会長協議会報告

高水会長

二、東京都に於ける零才児無料診療について 高水会長

事務が複雑化するため東京都正副医師会長より都に対して協力せざる旨申入れた。尚、各自自治体が実施することは良いが、東京都医師会とは無関係なる旨の説明あり。

三、休日診療に就て

福島理事

東京都に於て来る七月一日より翌年三月三十一日まで実施する休日診療について、東京都医師会と東京都との間に委託契約が施行され、休日診療に必要な施設設置要項(人口十一万六千人に対して入院施設一ヶ所、五万八千人に対し外来施設一ヶ所)が指示され、要員は

原則として医師一名、看護婦一名、事務員一名、である。尚、診療時間は午前九時より午後五時まで。人口の満たざる処は数ヶ所が一単位となつてもよいとのこと。輪番制にて実施し、休日診療自体が医師会のPRを兼ねるため民間救急医療機関及診療所にて実施方を希望する旨の説明があり、これに対し山田、菱山、川崎、江本、大河原、瀬戸岡各理事より質疑が出され、今后公衆衛生部に於て当地区医師会管下の休日診療に関して協議検討することで全員了承す。

四、社保、国保担当理事事務連絡会について

瀬戸岡理事

最近事務連絡会開催が滞り都医師会事務担当者の怠慢を地区医師会協議会席上で発言され度き旨申入れがあり、高水会長主旨に賛意を表し申入れることを約束す。

五、西多摩管内自治体に申し入れし要望書の解答に関して

高水会長

三月十三日臨時理事会に於て、予防接種執務手当及び学校医手当について三月二十日迄に解答を求めることに決定し直ちに各自治体にその旨通達せし処石川青梅市長、石塚町村会会長より本月末若しくは来月上旬医師会と協議したき旨申入れがあったので、一応それまで一切の執務を延期することに全員了承し直ちに各会員に通知方承認す。

六、スクールゾーンに於て

瀬戸岡理事

スクールゾーン内に在る医療機関に患者が車で乗入れることが出来

警察に申し入れる様要望が提出され、種々協議の結果殊に福生署管内が厳密なるため田村利一都會議員を仲介者として申入れることに決定し、全員了承す。

(付記) 本件に関して三月二十七日夜高水会長、山田総務部長、瀬戸岡学校医部長が田村利一都會議員宅を訪問し、種々協議をなし、田村都議より医師会よりの申入れ事項に関して警察側に善処方を申入れることを約束す。

七、定時総会に就て

山田理事

三月二八日開催の定時総会及東京都医師会代議員及同予備議員選挙に関して説明し、今回は他の総会を省略したき旨申出たる処、川崎理事よりモータリスト協会西多摩支部総会を無視する言語道断と強き申入れがあり、医師会有史以来の選挙等で時間的制約を受くるかも知れないので臨時総会で開催方を懇請したるも尚、強き希望のため全員開催を了承す。

定 時 総 会 四八、三、二八

西多摩医師会館講堂に於て 出席者六四名 委任状五八名、計一二一により山田総務部々長より総会成立の報告があり、午後二時三十分より開催す。

石川孝明議長、杉本一副議長夫々議長席に着席し、議事録署名人として、木野村幸彦、福田佐の両氏を指名し開会をせんす。

小林喜久雄先生の冥福を祈り全員一分間の黙とうを捧げる。

高水会長より本医師会設立以来の多数の会員の出席を得たることは、各会員の医師会に対する関心の現われであると感謝の意を表し、提出議案に対し慎重審議方懇請の挨拶があった。

一、昭和四七年度庶務報告及各部事業報告

山田総務部々長より西多摩医師会の昭和四七年度庶務報告をなし、大河原学術部長より学術部報告があり全員承認す。

二、昭和四八年度各部事業計画

後藤副会長より各部事業計画の説明があり万場一致で承認す。

三、昭和四八年度会計歳入歳出予算案

矢ヶ崎経理部担当理事より歳入の部に於て説明があり、各会員の会費は平均二〇%上昇の説明があり全員万場一致で承認す。次で江本経理部長より歳出の部に就て説明がなされ万場一致で承認可決される。

四、其の他

イ、小泉新策東京都医師会代議員より東京都医師会代議員会の報告があった。

ロ、西多摩医師会創立六十周年記念事業計画に就て、山田総務部長より説明があり、百瀬政雄会員より費用に就て質疑があり、これに対して山田理事より一応会員負担額は一万円程度に押さえる様努力する旨解答す。次で井上富美会員より何故当初予算に記念事業費

を計上せぬかと質疑が提出され、山田理事より別途会計とする旨返答するも、再度質問が提出され、高水会長の発言により、先ず本記念事業を施行するか否かの審議が先行であって、今後の計画等に関しては理事会に一任され度き旨の提案がなされ、全員万場一致を以て会長提案に賛意を表し、以后理事会に於て計画することを了承する。

後藤副会長の閉会の挨拶があつて定時総会を無事終了す。

東京都医師会代議員及

同予備代議員選出に就て

四八、三、二八

西多摩医師会定時総会終了后十分間の休憩をして、石川孝明議長、杉本一副議長夫々所定の議長席に着席して、東京都医師会代議員及全予備代議員選挙を、西多摩医師会定款施行細則第三三条、三九条、四一条、四二条、四三条によつて施行する旨宣言すると共に、選挙人資格確認を総務部に三六条に則り実施する様命ずる。山田総務部長選挙人名簿により一人一人を確認し、投票者総数六七名。三九条により選挙立合人として、東 吉男、井上富美、秋山静夫の各会員を議長指名し、投票用紙を配布す。

東京都医師会予備代議員立候補者は定員二名に対して、菱山正治、藤野是常の二名なるを以て無投票投票を議長確認し決定す。

東京都医師会代議員立候補者は四名に付き、五五三条により理事会に於てくじ引きをなし

1. 小泉 新策
2. 高水 武夫
3. 大河原 周
4. 瀬戸岡 進

の候補者一覧表となり、四二条、四三条の規定により投票し、投票総数六七名を確認し、選挙立合人三名によって開票の結果次の如くとなり、上位二名を西多摩医師会より選出したる東京都医師会代議員の当選人と確認し決定す。

高水 武夫	五六票
瀬戸岡 進	四七票
小泉 新策	一七票
大河原 周	一一票

予防接種執務手当及 学校医執務手当に就て 四八、四、五

本会々長より西多摩管内各自治体に対し表記の件に関し要望書を提出し、それに関する解答を求めて居た所四月五日青梅市役所内市長応接室に於て、石川青梅市長、石塚町村長会長と本会側は高水会長、栗原副会長、山田総務部長、高木公衆衛生部長、瀬戸岡学校医部長との間に於て種々協議がなされて、一応次の如く確約を取交した。

一、昭和四八年度予防接種執務手当

先きに本会より要望せる一人一回出勤の予防執務手当一一〇〇〇円は、各自治体の財政上の問題点から昭和四八年度は西多摩管内各自治団体共医師一人一回出勤の執務手当は八〇〇〇円とし、直ちに各地区医会に契約を履行し実務に服する様医師会側は通知し、自治体代表者は各自治体に執務手当を通知することを両者共に確認し了承す。

二、学校医執務手当

各自治体の財政上本会要望額を下回る年額一四四〇〇〇円を基本給とし、内科医管理職手当二四〇〇〇円を支給する様重ねて要望したるも、管内統一にすることに賛成の意を表するも、早急にこれを実施することは幾多の困難が伴う故、前進することを目標として今後継続審議したき旨申出があり、会長の採択により一応予防接種執務手当と分離して継続審議することを返答し相方互に確認して了承する。

三、医師会との懇談会

自治体理事者側から来る四月九日医師会役員と懇談致し度き旨申出があり、今回は一月の返礼も兼ねて市町村側主催で開催と決定し了承す。

石川青梅市長、石塚瑞穂町長より今后も医師会との事務連絡等の窓口設置の希望があり、本会側も賛意を表し以後はこの窓口を通してお互に協力して審議することを確認了承す。

臨時理事會

四八、四、五

西医政発 二号を参照のこと

出席者 高水、栗原、後藤正副会長。山田、福島、速水、内山、矢ヶ崎、近藤、瀬戸岡、高木各理事。坂本、菱山各監事。

一、予防接種執務手当及学校医執務手当について 高水会長、瀬戸岡

本日午後青梅市役所市長応接室に於て医師会側代表と自治体側代表と協議の結果昭和四八年度予防接種執務手当は一人一回一時間八〇〇〇円とし四月一日よりこれを実施することに決定した旨報告し全員了承す。尚、校医執務手当は今后継続審議として年額一四四〇〇円+α（内科管理職手当二四〇〇〇円）を実現すべく努力することです。執務開始を各員全員に通達することに決定する。

二、臨時地区医師会長協議会報告

後藤副会長

イ、日本医師会賠償強制保険について

東京都医師会ニュース参照のこと

ロ、ガンセンター研修生募集について

西医発 四号参照のこと

ハ、東京都に発生せる天然痘について

西医発 三号及東京都医師会長通達を参照のこと

ニ、東京都議員について

三、学校医の任期について

高水会長

学校医の任期は従来二年毎に更新していたが、昭和四八年度以降は、一年毎に更新することとし全員了承す。全会員に通達する。

四、西多摩管内市町村長との懇談会について

山田理事

三月九日午後二時より青梅市坂上旅館に於て、市町村側主催で第二回懇談会を実施する旨説明す。本席上に於て予防接種執務手当及学校医手当に関して協議の旨説明し全員了承す。

五、就学時健康診断について

山田理事

就学前の児童健康診断は、校医執務手当に包含されて居らないため本手当支給方を各教育委員会に要請すると共に市町村長懇談会でも説明了承を求むることを説明し全員了承する。

西多摩管内市町村長との懇談会

四八、四、九

市町村長と医師会との第二回懇談会が青梅市坂上に於て、市町村側主催で開催された。石川青梅市長、石塚町村会々長、石川福生市長、秋川市長代理橋本助役、並木羽村町長、岸五日市町長、佐久間奥多摩町長、森田日ノ出村長、桧原村長代理衛生課長と高水会長、栗原副会長、山田、瀬戸岡、速水、高木、川崎、森各理事及香西、

坂本、菱山監事出席す。

一、昭和四八年度予防接種執務手当の件

四月五日の予備協議に於て確約した如く本年は四月一日より各市町村共に一人一回一時間八〇〇〇円とする。

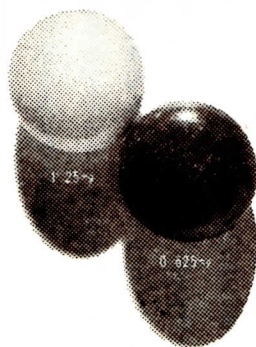
二、学校医手当の件

学校の大小を問わず校医の執務は同等で基本的には管内同一額を支給すべき点は十分に了承するが、内科医管理手当等の問題も有り各自治体夫々の事情もある故担当者間に於て研究すると同時に各自治体の長も前進の方向で研究し合つて、今后医師会と協議を継続し度き旨申出があつた。

三、今后市町村と医師会との問題は、市長側代表者及町村会々長を窓口として協力体制で懇談し度き旨申出があつた。

以上三点に関して高水会長より挨拶があり、決して医師会は斗争的な考えはなく何処迄も地域住民の健康管理及衛生思想普及、予防衛生に協力することを目標として居るため、今后自治体と共同体制を敷き度き考えの挨拶をす。山田総務部長より就学时身体検査は校医報酬に包含されて居らぬ故、各自治体に於て報酬を支給され度き旨懇請す。

協議事項相互に確認后懇親会に移り和氣霽々の内に四時散会す。第三回懇談会を七日頃開催致し度き旨申出があつた。



更年期および更年期後の婦人に！

〈天然・結合型エストロゲン製剤〉

プレマリン錠

■特長 1.天然水溶性のエストロゲンです。2.高力価を含有します。
3.経口投与で活性です。4.更年期障害の諸症状を速やかに寛解させしかも健康感を与えます。5.閉経期後のエストロゲン欠乏により起る種々の代謝異常を改善します。

■包装 プレマリン錠 1.25mg(黄色) 105錠、525錠、1050錠、
プレマリン錠 0.625mg(褐色) 105錠、525錠、1050錠

健保適用



製造発売元
東洋醸造株式会社



提携
アイヤースト・ラボラトリーズ

各部だより

東京都医師会渡辺真言会長が休祭日

当直医制度を採用するに至った経過と

それに関連したことどもについて

福祉部

48年3月14日東京都医師会で行われた休祭日診療担当理事連絡会に出席しましたので、渡辺会長の挨拶を一部御紹介致します。

近い将来に週休2日制が全面的に実施されるであろう。その時点では医療従業員も週休2日を要求し、それを実施しなければ従業員の確保が出来ないであろう。しかし一方2日間も患者を放置することとは出来ないもので休祭日診療の当直医制度を実施しなければならぬ。此意図のもとに渡辺会長が都医師会地域医療推進連絡会に諮問したところ休祭日当直医制度を採用すべきであると言う回答があったので東京都医師会全員の協力を要請することになった。又此問題を担当している木下理事によれば、地区医師会の総意が休祭日当直医制度に協力出来ないと云うことであっても、都医理事が地区医師会に出向し必ず説得して見せると云うことであった。以上会長とその周辺の休祭日当直医制度に対する決意は並み並みならぬもので

あることが推察出来ます。

都医師会長の要請に応えるか否かは、我々地区医師会員が決定することであって之が決定は慎重でなければなりません。無医師時間帯での急患の診療に關しての最高責任者は厚生省であり末端責任者は各自治体の首長であることは間違ないことでありますが、現在の休祭日当直医制度は開業医の好意乃至犠牲によって運営されて居ります。休祭日は看護婦事務員等の医療従業員に出勤を要求することは極めて困難なため妻或はその他の家族を動員することになりその影響は子供達にも波及することになります。又2ヶ月に1回程度就業する看護婦、事務員を確保して置くことも考えられるが此程度の就業状態ではむしろ患者とのトラブルを起すことになりやすいとも考えられる。渡辺会長は一部負担金の未収については勿論、その他医事紛争問題についても会員に不安のない様にとの配慮から、東京都と都医師会との間に委託契約を成立させると云って居ります。急患のうちには1日だけでも医師の手元に置き経過を観察する必要がある者、或は即時入院させる必要のある者もあります。従って一次的診療機関の他に有床診療所か病院か入院の施設のある二次的医療機関を確保することが必要となります。当直医制度を我々全員に協力させるとすれば一次的機関と二次的機関を常に並行させなければ不安であります。

吾西多摩医師会では高木会長が此当直医制度についての検討を公衆衛生部に委託しましたが、福祉部では48年度事業計画として週休

2日制と休祭日当直医制度を検討することになっておりましたが、週休2日制を考える場合には当直医制或は当直医制に替わる方式のことは当然念頭に置いて検討しなければならぬと考えます。又週休2日制も会員各自の家庭の都合もあることを考えなければなりません。土曜日も祭日も働きたいと考えている会員もあることと思います。大企業では週休2日制を採用して生産量が80%にダウンしてもその分は製品のコストアップで痛くも痒くもないであろうが、医療は統制経済の類であるから此点も考慮して検討する必要がある。

福島

診療報酬請求明細書

返戻状況 (一月分)

保健部

- | | | |
|----|--------------------------|-----|
| 1. | 記号番号不備不明および保険者名(符号)不一致 | 九〇件 |
| 2. | 生年および患者名不備あるいは記載のないもの | 九〇 |
| 3. | 傷病名不備あるいは記載のないもの | 五〇 |
| 4. | 診療開始日・日数および転帰不明 | 二二〇 |
| 5. | 初診・負担金・再診および往診料について不備・不明 | 五〇 |
| 6. | 投薬の場合薬名・用量・回数等の不備 | 三三〇 |
| 7. | 注射の場合薬名・用量・回数等の不備 | 八〇 |
| 8. | 投薬・注射・X線で点数算出根拠不明 | 四〇 |
| 9. | 処置および手術で内容の不備なもの | 四〇 |

- | | | |
|-----|--------------------|-----|
| 10. | 検査で検査名・回数・内訳の不備なもの | 四件 |
| 11. | 診療内容および方針の説明を要するもの | 一一〇 |
| 12. | 前記事項に該当しない不備・不明のもの | 一二〇 |

計

二〇七〇

不当、疑問の査定、減点には必ず再審請求を出そう。

毎月七日午後八時まで減点
通知、注意書、減点レセプト
のコピー等を提出して下さい。
さい。

編集後記

先日、福生地区で編集会議が持たれ、各会員から具体的な色々な意見が出されて、この種の編集会議も逐次一般会員の間に定着しつつあることは、会報のために喜ばしいことである。

だが、そういうご意見の中で一寸気になり、私自身もそういう考えから脱却したいと思っている一つのこと——意見なり批判なりを載せたい場合、発言者の名前が解らないような方法を考えて貰いたい——ということ、此の事については、我々会員全体が、意識の根底にこびりついている“古き”を払拭し、もう少し“意識の近代化”に向って前進するために、堂々と、胸を張ってのご投稿をお願いしたいものである。発言の如何による不利益なんてことは、自由な世界では考えられないし、またそういう会報にするためにも。

(内 山)

風薫る五月、つつじが咲き乱れ新緑も美しいゴールデンウィークですが我々開業医にとっては、毎月のこと乍ら請求書がきの灰色シ

リーズ。無理は禁物、書き残しは翌月廻してもよいと思います。本号に西多摩健康筆家の一人近藤先生の御投稿あり、先生の御登場少し遅すぎの感なきにしもあらずです。上田先生の傑作川柳の次回を期待しております。

(M・H生)

八月の人事院勧告では公務員給与の13%引き上げと週休二日制に言及する方針だそうです。ひるがえって私達には、夜間、休日診療体制が待ちかまえています。社会保障政策の枠内でしか生活できない開業医とその保障を享受する労働者側、即ち医者と患者の関係が、一方的な福祉政策の量的な成長によって、ますます緊張していくと想像されます。

西ドイツの医療形態の歴史の変遷を知ると、19世紀ドイツ帝国主義の『アメとムチの政策』の矛盾が今日の実態を語っているようです。医療形態が労働者への懐柔手段として位置する限り、開業医の不満は消えないと思います。

(野村 有信)

東洋羽毛の 羽根ふとん

かるーい羽根ふとん……
さわやかな朝…を……



○ 羽毛肌掛ふとん 365日お使いになれます

● 高級羽毛 DOWN 0.5kg

● サイズ 180cm × 130cm

● 色 2色

● 会員価格 ￥13,000

分割 ￥14,000

14ヵ月

● 最高級羽毛 DOWN 1.8kg 使用

● サイズ 200cm × 150cm

● 色 金茶、グリーン、赤

● 組合員卸価格 ￥36,000

分割 ￥4,000 × 10回

● サイズ 42cm × 63cm

● 色 2色

● 組合員卸価格 ￥3,600

東洋羽毛工業株式会社

本社 東京都港区南青山5丁目10番12号

TEL 409-7878・5704

組合員関係連絡

TEL 八王子 (0426) 91-2006

代表者 佐藤 健一

※ 御用命はメーカーより直接現品を持参
御説明に参上致します。



健保適用

Propaderm

局所消炎活性が強く皮膚貯留性にすぐれる

新コルチコイド外用剤

プロパデルム[®] 軟膏・クリーム

(プロピオン酸ベクロメタゾン0.025%含有)

価基準 プロパデルム軟膏 1g………120.00 プロパデルムクリーム 1g………108.00

協和酸酵工業株式会社

提携 アレン アンド ハンブリーズ社



(創業60周年)

医薬品・化学薬品・工業薬品・卸

本郷薬品株式会社

多摩営業所 東京都日野市上田 424-3
〒 191 電話 0425(83)6331 (代表)
本社 東京都文京区本郷5丁目24番7号
〒 113 電話 (815) 2511 番 (大代表)

動脈硬化症

出血・炎症性疾患の症状改善に

健保適用

抗動脈硬化剤
抗キニン性・抗遅延型炎症反応因子性
血管透過性亢進阻止剤

アンチニン®

2,6-ピリジンジメタノールビス(N-メチルカルバメート)
〔薬価基準・包装〕1錠(250mg) ¥45.00 20錠 100錠 500錠

ANGININ



萬有製薬株式会社
東京都中央区日本橋本町2-7

動脈硬化・高血圧の愁訴に



ユベラ ニコチネート

血流不全による愁訴を改善するだけでなく、血管を強化し、眼底出血や脳出血の防止に役立ち、また、脂質代謝を改善し、血管の弾力性を保持します。

抗生物質療法の限界に挑戦する



新合成広範囲抗生物質

新発売

ミノマイシン®

健保適用

塩酸ミノサイクリン100mgカプセル

- 特長：
1. 耐性ブドウ球菌にも強い抗菌力をしめします
 2. 著名な殺菌作用がみとめられています
 3. 他の抗生物質との交叉耐性が見られません
 4. 耐性獲得は遅く、耐性菌をつくりにくい抗生物質です
 5. 少量の経口投与で高い血中濃度を長時間持続します

用法・用量：1日 1～2回(100～200mg(力価))で各種感染症にすぐれた治療効果がえられます

包装：100カプセル

薬価基準：1カプセル(100mg) 340.00



製造 日本レダリー



販売 武田薬品

〈健保適用〉

コカルボキシラーゼ水溶性注射液

ネオアリナチオール®_注

NEO ALLINATHIOL

【包装】注射液	5mg	1ml×10A・50A・200A
	10mg	2ml×10A・50A・200A
	25mg	10ml×10A・50A・200A
	50mg	20ml×10A・50A

広範囲化学療法剤

デスコシン

DESCOCIN

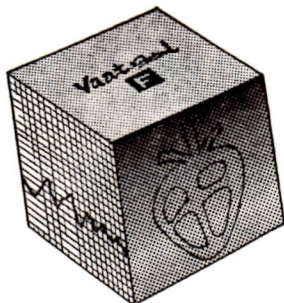
【包装】	125mg	100カプセル	
	250mg	100カプセル	500カプセル

能書参照の上御使用下さい。



関東医師製薬株式会社

東京都杉並区堀之内3-20-11医製ビル



■ 健保適用

心疾患の長期管理に！

トリメタジン 二塩酸塩製剤

パスタレルF錠

心仕事量の軽減・心筋代謝の賦活・特異的心筋保護作用・副血行路形成の促進

〈適応〉 急・慢性冠不全・狭心症・心筋硬塞・冠硬化症

〈包装〉 糖衣錠(1錠3mg) 120錠・600錠・3000錠

販売元 稲畑産業株式会社 医薬事業部

大阪市東区道修町2丁目40

製造元 京都薬品工業(株) 京都市中京区西ノ京月輪町



ワールドパーク.....は 先生方の憩いの場所です

◆ 雄大な白河高原の一角，温泉の湧き出づる高級別荘地，これがワールドパークです。

所在地 / 福島県西白河郡西郷村大字鶴生字シナシ1番地
地目 / 山林 建ぺい率 / 7割 道路 / 5～6m 排水溝つき
電気 / 3相高圧6600V 水道 / 地下130m ポンプ汲あげ完了
温泉 / 52℃の単純泉 7割配管済 区画 / 350区画
1区画 / 330㎡～1000㎡ 価格 / 1㎡当り6000～12,000円
温泉権 / 1口500,000円 工事負担金 / 1区画50,000円



日総観光株式会社

本社 東京都渋谷区道玄坂1-19-9 暁ビル
支店 福島県白河市中町24 トミヤビル
免許 建設大臣(1)919号

お問合せ
(462)
1161(代)